

千葉市子育て環境に関する

アンケート調査結果

【子育て関係施設従事者・子育て支援者等】

平成22年3月

千葉市

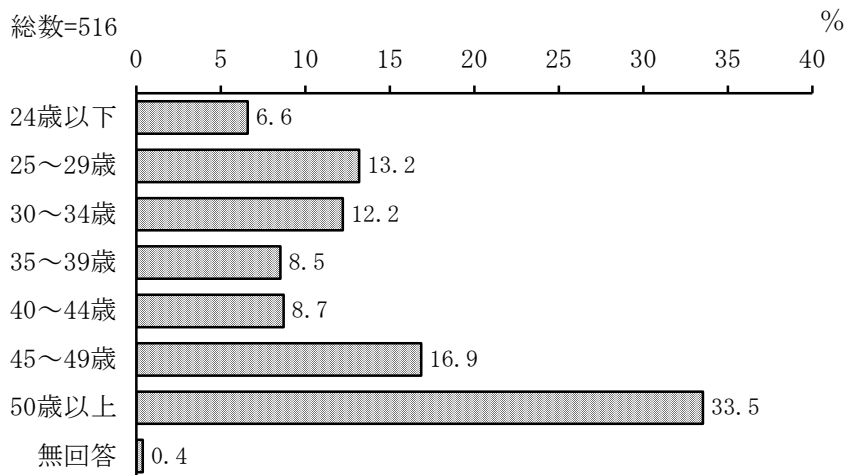
## 目次

1	基本属性について.....	1
2	出産・育児に対する意識について.....	2
3	少子化の要因と対策について.....	5
4	子育て支援サービスに対する意識について.....	8
5	保育士、幼稚園教諭に対することについて.....	11

# 1 基本属性について

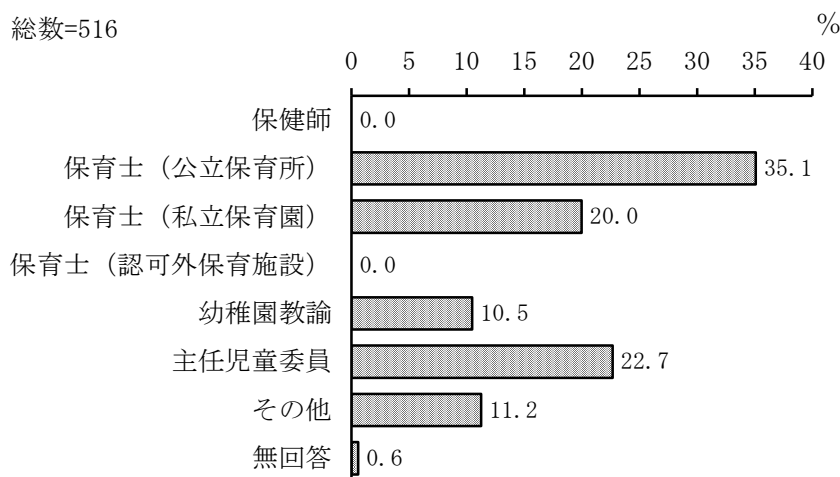
## (1) 年齢

年齢については、「50歳以上」(33.5%)が最も多く、次いで「45～49歳」(16.9%)、「25～29歳」(13.2%)となっています。



## (2) 職種

職種については、「保育士（公立保育所に勤務）」(35.1%)が最も多く、次いで「主任児童委員」(22.7%)、「保育士（私立保育園に勤務）」(20.0%)となっています。

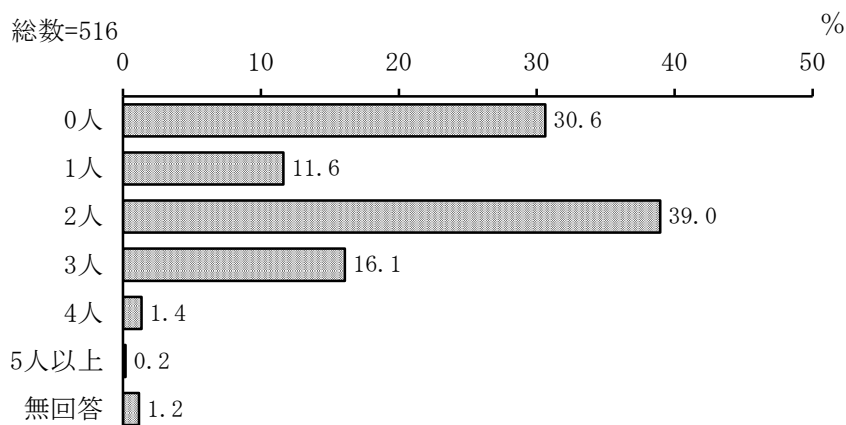


## 2 出産・育児に対する意識について

### (1) 現在の子どもの人数

#### ①現在の子どもの人数

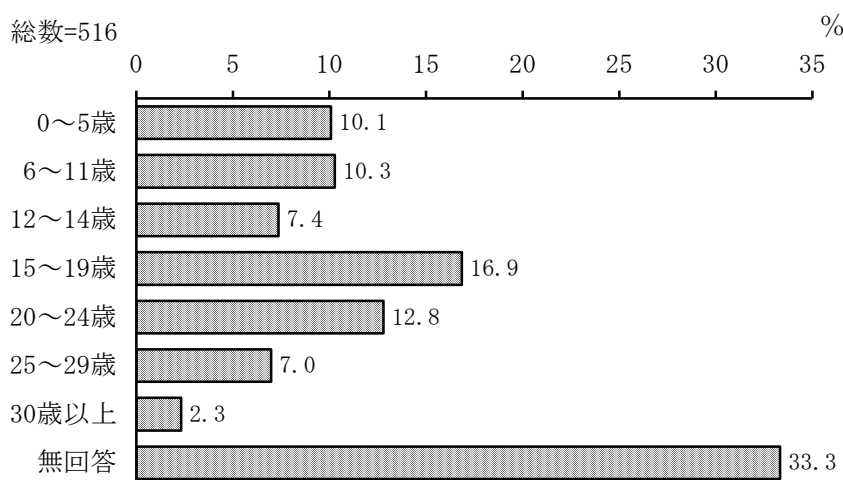
現在の子どもの人数については、「2人」(39.0%)が最も多く、次いで「0人」(30.6%)、「3人」(16.1%)となっています。



総数	有効回答数	平均	標準偏差	最小値	最大値
516	510	1.46	1.14	0	5

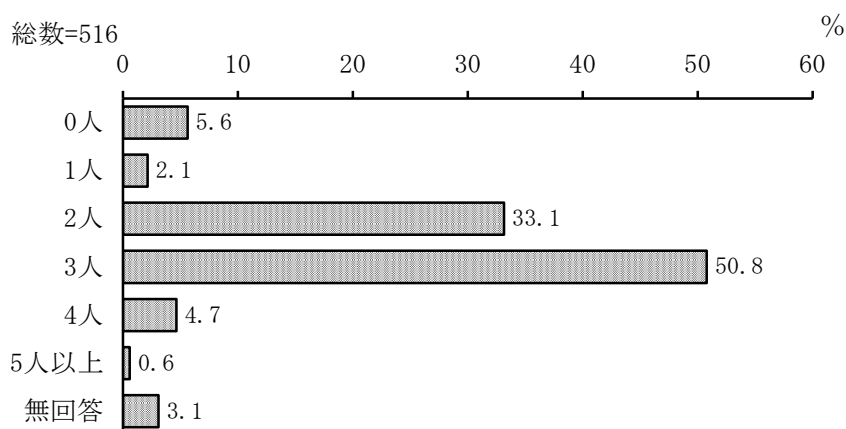
#### ②末子の年齢

子どもが2人以上いる場合の末子の年齢については、「15～19歳」(16.9%)が最も多く、次いで「20～24歳」(12.8%)、「6～11歳」(10.3%)、「0～5歳」(10.1%)となっています。



## (2) 理想の子どもの人数

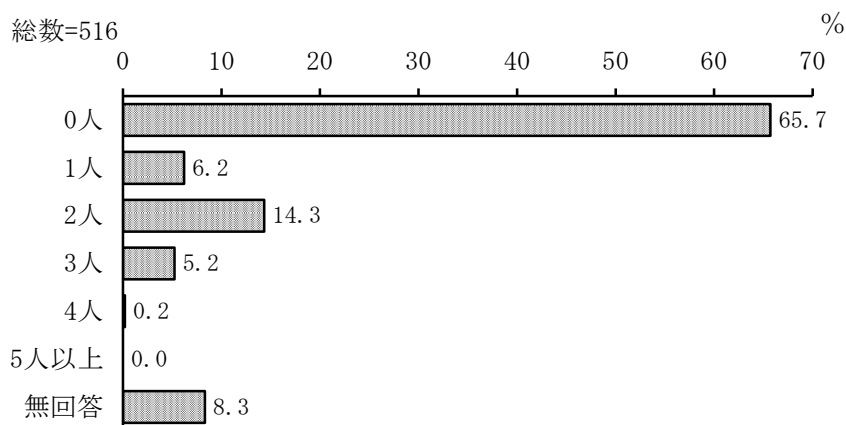
理想の子どもの人数については、「3人」(50.8%)が最も多く、次いで「2人」(33.1%)、「0人」(5.6%)となっています。



総数	有効回答数	平均	標準偏差	最小値	最大値
516	500	2.51	0.89	0	6

## (3) 今後の出産予定人数

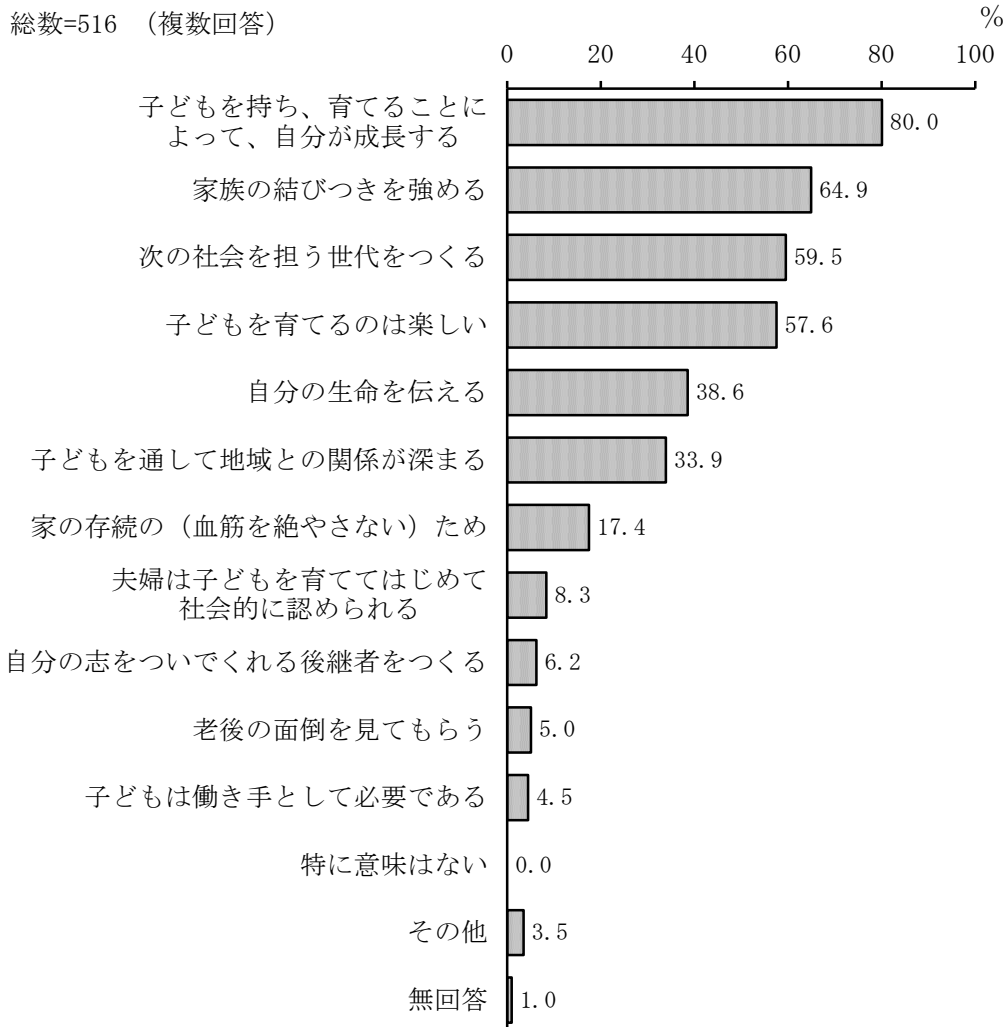
今後の出産予定人数については、「0人」(65.7%)が最も多く、次いで「2人」(14.3%)、「1人」(6.2%)となっています。



総数	有効回答数	平均	標準偏差	最小値	最大値
516	473	0.56	0.97	0	4

#### (4) 子どもをもつことの意味

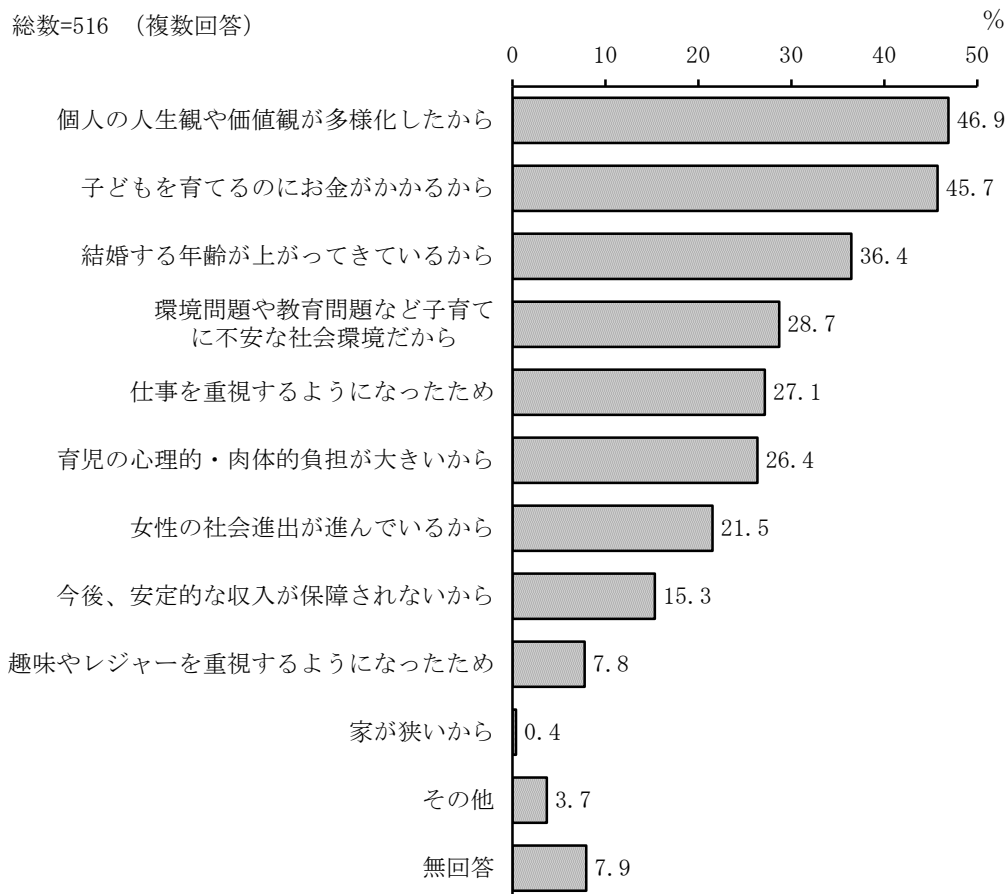
子どもをもつことの意味については、「子どもを持ち、育てることによって、自分が成長する」(80.0%)が最も多く、次いで「家族の結びつきを強める」(64.9%)、「次の社会を担う世代をつくる」(59.5%)、「子どもを育てるのは楽しい」(57.6%)が多くなっています。



### 3 少子化の要因と対策について

#### (1) 少子化が進行している理由

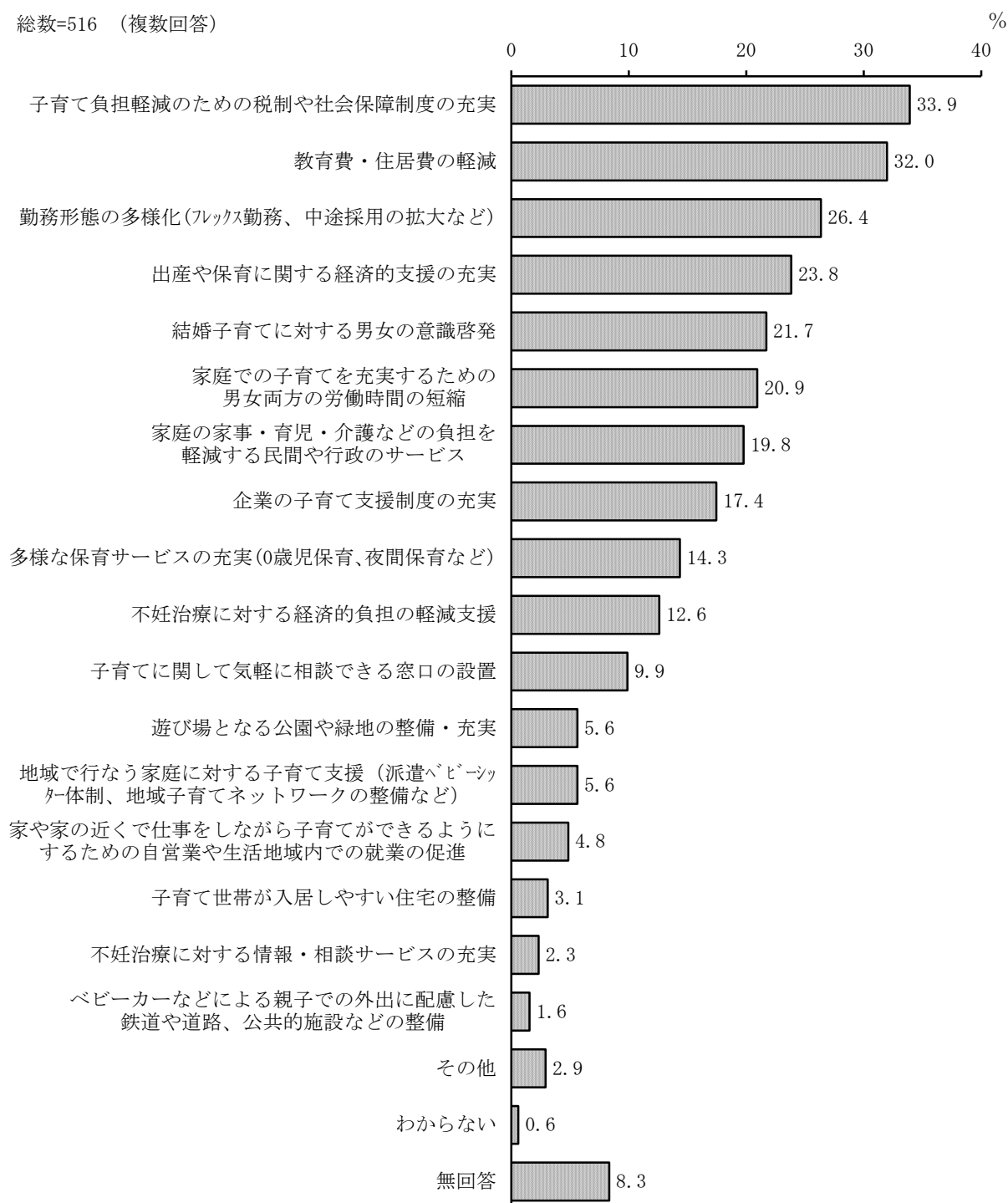
千葉市における少子化進行の理由として考えられることは、「個人の人生観や価値観が多様化したから」(46.9%)が最も多く、次いで「子どもを育てるのにお金がかかるから」(45.7%)、「結婚する年齢が上がってきているから」(36.4%)が多くなっています。



## (2) 少子化を抑えるために必要な対応

少子化を抑えるためにどのような対応を行う必要があるかについては、「子育て負担軽減のための税制や社会保障制度の充実」(33.9%)が最も多く、次いで「教育費・住居費の軽減」(32.0%)、「勤務形態の多様化(フレックス勤務、中途採用の拡充など)」(26.4%)が多くなっています。

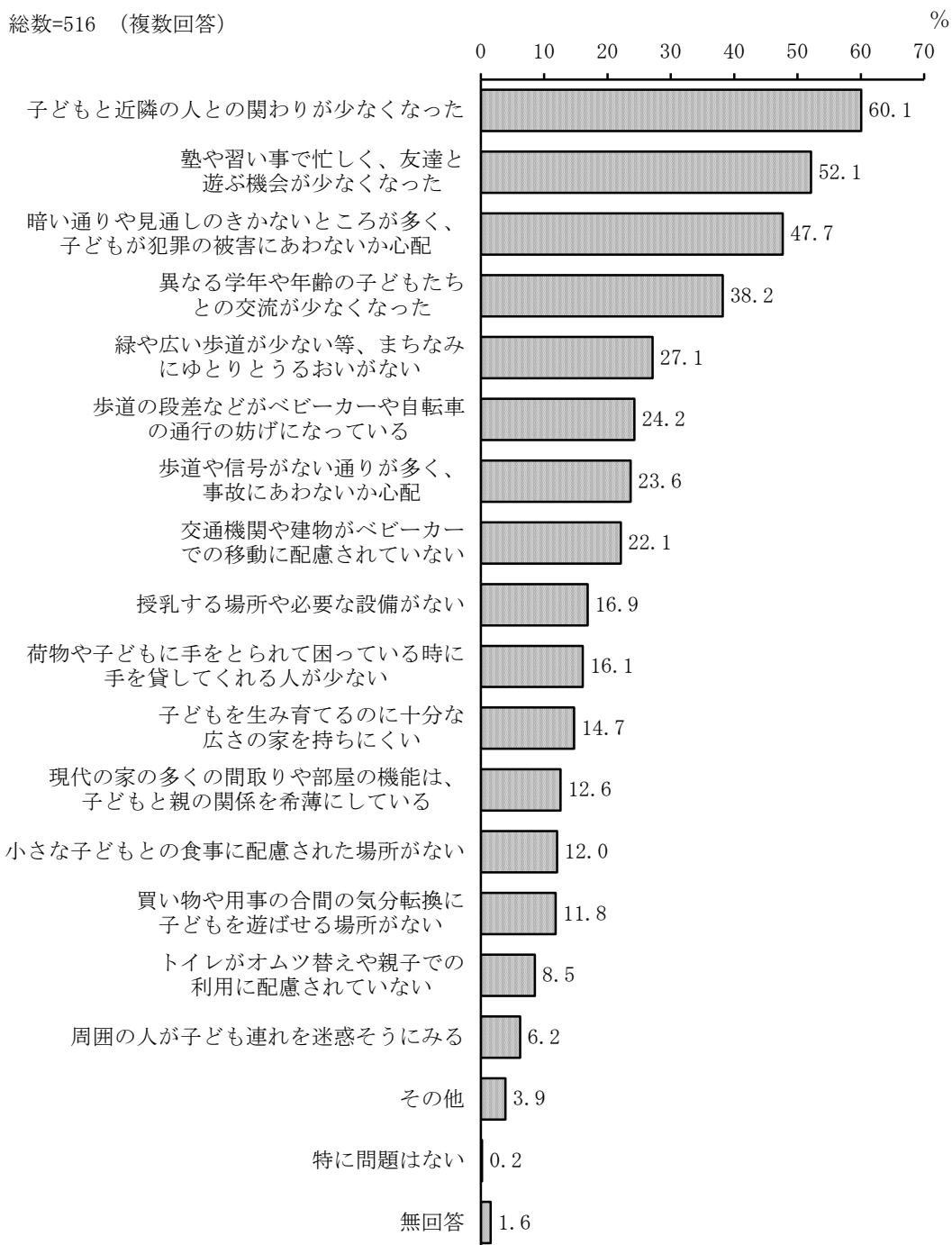
総数=516 (複数回答)





### (3) 子どもを取り巻く都市環境や社会環境について

子どもを取り巻く都市環境や社会環境については、「子どもと近隣の人との関わりが少なくなった」(60.1%)が最も多く、次いで「塾や習い事で忙しく、友達と遊ぶ機会が少なくなった」(52.1%)、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」(47.7%)が多くなっています。



## 4 子育て支援サービスに対する意識について

### (1) 子育てに関する機関の認知状況

市の子育てに関する機関の認知状況については、「知らない」が、「家庭児童相談室」(21.1%)で最も多く、次いで「児童家庭支援センター」(17.8%)となっています。

「聞いたことがある」は、「青少年補導センター」(55.8%)、「発達障害者支援センター」(54.5%)、「児童家庭支援センター」(52.9%)、「養護教育センター」(51.6%)、「家庭児童相談室」(48.8%)で5割前後となっています。

「具体的な内容を知っている」は、「児童相談所」(78.5%)が最も多く、次いで「療育センター」(60.3%)となっています。

総数=516

単位:% (5%未満非表示)

	知らない	聞いたことがある	具体的な内容を知っている	無回答
児童相談所	18.0	78.5		
児童家庭支援センター	17.8	52.9		26.4
家庭児童相談室	21.1	48.8		26.4
青少年補導センター	13.6	55.8		26.9
養護教育センター	14.3	51.6		30.6
発達障害者支援センター	10.3	54.5		32.0
療育センター	6.8	30.6	60.3	

(注) 5%未満数値: 児童相談所(0.6 2.9) 児童家庭支援センター(2.9) 家庭児童相談室(3.7) 青少年補導センター(3.7) 養護教育センター(3.5) 発達障害者支援センター(3.3) 療育センター(2.3)

## (2) 市の子育て支援策

### ①市の子育て支援策【A 認知状況】

現在、市が行っている子育て支援策の中で、「知っている」と「聞いたことはある」を合わせた回答は、「子どもルーム」(95.2%)が最も多く、次いで「乳幼児医療費助成・児童手当」(94.2%)、「一時・特定保育」(92.8%)となっています。一方、「知らない」は、「トワイライトステイ」(26.2%)が最も多く、次いで「パパ・ママ子育て教習所・育児教室」(21.5%)、「ショートステイ」(19.8%)となっています。

総数=516  
単位: % (5%未満は表示)

	知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
パパ・ママ子育て教習所・育児教室	39.9		34.5	21.5
家庭児童相談室・保育所での育児相談		79.8		12.2
子育てハンドブック・子育て支援情報提供ホームページ	70.2		16.9	9.3
育児サークルの支援	69.6		20.2	6.2
地域子育て支援センターなどでの育児相談	73.8		14.7	7.4
子育てリラックス館、地域子育て支援センター、子育て一時・特定保育	86.2			6.6
病児・病後児保育	83.9			7.8
エンゼルヘルパー	60.9		19.6	15.7
乳幼児医療費助成・児童手当	86.6			7.6
幼稚園就園奨励費補助	63.4		15.9	16.3
ファミリー・サポート・センター	80.4		10.7	5.2
ファミリー・サポート・センター	75.6		12.4	8.3
ショートステイ	53.3		22.9	19.8
トワイライトステイ	44.4		24.8	26.2
公民館での子ども向け講座	54.1		26.0	15.9
公民館での子ども向け講座	61.8		23.4	10.9
子どもルーム	72.5		17.6	5.6
放課後子ども教室	33.5	9.1	12.0	45.3
子どもルーム	93.6			
放課後子ども教室	33.5	9.1	12.0	45.3

(注) 5%未満数値: パパ・ママ子育て教習所・育児教室(4.1) 家庭児童相談室・保育所での育児相談(4.1 3.9) 子育てハンドブック・子育て支援情報提供ホームページ(3.7) 育児サークルの支援(4.1) 子育てリラックス館、地域子育て支援センター、子育て支援館(4.1) 一時・特定保育(3.5 3.7) 病児・病後児保育(4.5 3.9) エンゼルヘルパー(3.9) 乳幼児医療費助成・児童手当(2.3 3.5) 幼稚園就園奨励費補助(4.5) 保育ママ(3.7) ファミリー・サポート・センター(3.7) ショートステイ(4.1) トワイライトステイ(4.7) 子育てセンター(4.1) 公民館での子ども向け講座(3.9) 教育相談(4.3) 子どもルーム(1.6 1.0 3.9)

## ②市の子育て支援策【B 必要性】

現在、市が行っている子育て支援策の中で、「必要である」は、「子どもルーム」(92.8%)が最も多く、次いで「教育相談」(91.9%)、「家庭児童相談室・保育所(園)での育児相談」(90.1%)となっています。一方、「必要でない」は、どの子育て支援策も1割未満となっています。

総数=516

単位:% (5%未満非表示)

	必要である	必要でない	わからない	無回答
パパ・ママ子育て教習所・育児教室	78.5		11.4	7.2
家庭児童相談室・保育所での育児相談	90.1			5.8
子育てハンドブック・子育て支援情報提供ホームページ	81.8		10.7	6.0
育児サークルの支援	83.7		7.9	6.2
子育てリラックス館、地域子育て支援センター、子育て支援館	85.3		6.8	6.4
一時・特定保育	89.1			5.4
病児・病後児保育	86.6		5.2	5.6
エンゼルヘルパー	81.6		10.9	5.4
乳幼児医療費助成・児童手当	89.9			5.4
幼稚園就園奨励費補助	71.3		17.8	6.4
保育ママ	77.9		14.1	5.4
ファミリー・サポート・センター	71.3		19.4	5.8
ショートステイ	55.0	9.7	29.8	5.4
トワイライトステイ	53.3	9.5	31.2	6.0
子育てサポーター	78.1		13.4	6.4
公民館での子ども向け講座	73.3		18.0	6.0
教育相談	91.9			5.0
子どもルーム	92.8			5.2
放課後子ども教室	39.5	12.4		45.2

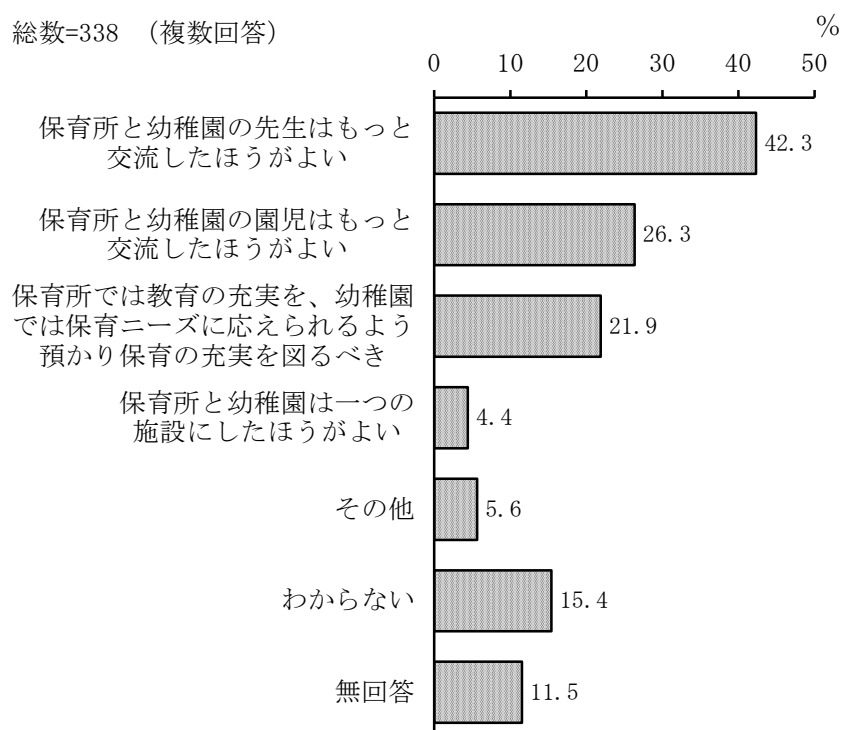
(注) 5%未満数値: パパ・ママ子育て教習所・育児教室(2.9) 家庭児童相談室・保育所での育児相談(1.0 3.1) 子育てハンドブック・子育て支援情報提供ホームページ(1.6) 育児サークルの支援(2.1) 子育てリラックス館、地域子育て支援センター、子育て支援館(1.6) 一時・特定保育(1.0 4.5) 病児・病後児保育(2.5) エンゼルヘルパー(2.1) 乳幼児医療費助成・児童手当(0.6 4.1) 幼稚園就園奨励費補助(4.5) 保育ママ(2.5) ファミリー・サポート・センター(3.5) 子育てサポーター(2.1) 公民館での子ども向け講座(2.7) 教育相談(3.1) 子どもルーム(0.6 1.4) 放課後子ども教室(2.9)

## 5 保育士、幼稚園教諭に対することについて

【5の(1)～(5)は、1の「(2)職種」で「保育士(公立保育所に勤務)」「保育士(私立保育園に勤務)」「保育士(認可外保育施設に勤務)」「幼稚園教諭」と答えた方に伺いました】

### (1) 保育所や幼稚園に対する運営内容や保護者の利用ニーズについて

保育所(園)や幼稚園に対する運営の内容や保護者の利用ニーズが近づいてきていることに対する考えについては、「保育所(園)と幼稚園の先生はもっと交流したほうがよい」(42.3%)が最も多く、次いで「保育所(園)と幼稚園の園児はもっと交流したほうがよい」(26.3%)、「保育所(園)では教育の充実を、幼稚園では保育ニーズに応えられるよう、預かり保育の充実を図るべき」(21.9%)が多くなっています。



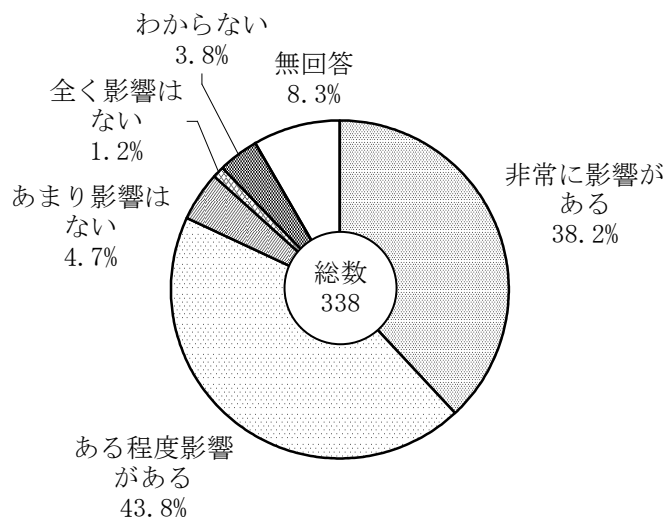
職種との関係でみると、「保育所（園）と幼稚園の園児はもっと交流したほうがよい」「保育所（園）と幼稚園の先生はもっと交流したほうがよい」という回答は、「保育士（公立保育所）」「保育士（私立保育園）」が「幼稚園教諭」より 10 ポイント程度高くなっています。

【保育所や幼稚園に対する運営内容や保護者の利用ニーズについてと職種】

	全体	保育所と幼稚園の園児はもっと交流したほうがよい	保育所と幼稚園の先生はもっと交流したほうがよい	保育所では教育の充実を幼稚園で預かり保育の充実を図るべき	保育所と幼稚園は一つの施設にしたほうがよい	その他	わからない	無回答	
全体	338 100.0	89 26.3	143 42.3	74 21.9	15 4.4	19 5.6	52 15.4	39 11.5	
職種	保健師	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	
	保育士（公立保育所）	181 100.0	49 27.1	83 45.9	34 18.8	7 3.9	7 3.9	30 16.6	24 13.3
	保育士（私立保育園）	103 100.0	30 29.1	43 41.7	24 23.3	7 6.8	6 5.8	16 15.5	8 7.8
	保育士（認可外保育施設）	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	幼稚園教諭	54 100.0	10 18.5	17 31.5	16 29.6	1 1.9	6 11.1	6 11.1	7 13.0
	主任児童委員	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	その他	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	無回答	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *

(2) 延長保育や預かり保育などによる子どもの影響

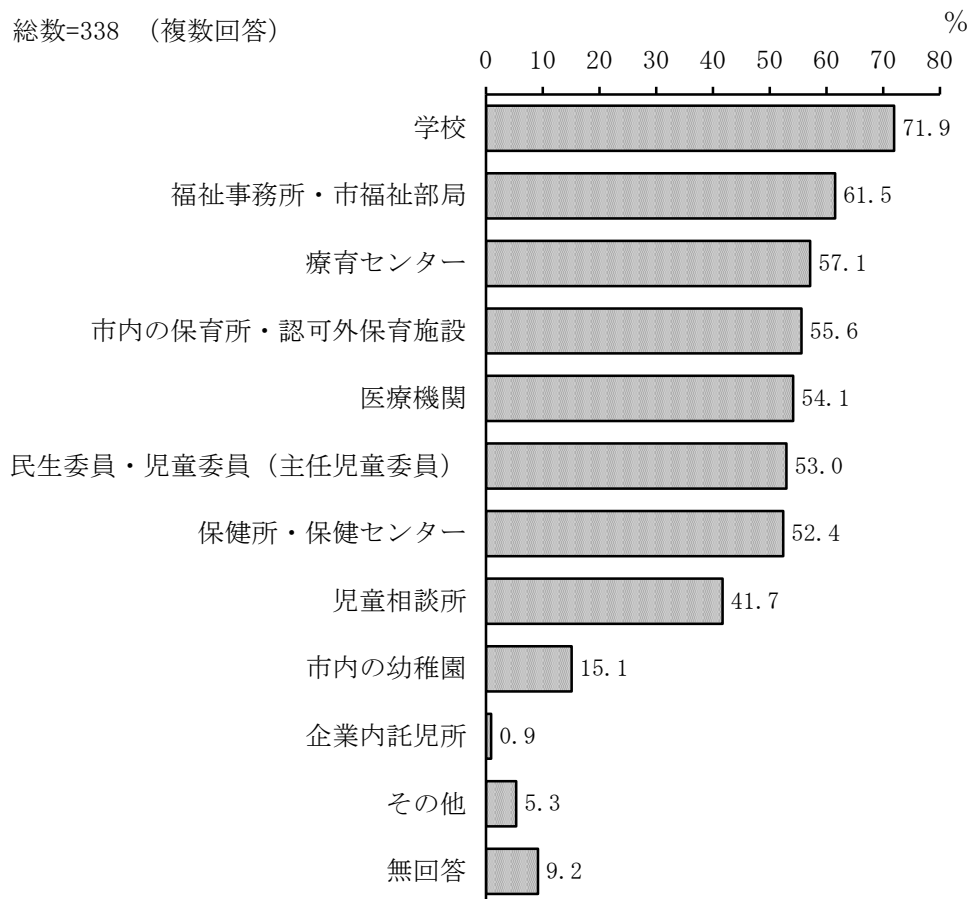
延長保育や預かり保育などで、子どもが保育所等にいる時間が長くなっていることが子どもに与える影響については、「非常に影響がある」(38.2%)と「ある程度影響がある」(43.8%)を合わせると、8割を超えています。



### (3) 保育所や幼稚園と他の施設・機関との連携

#### ①現在連携を図っている施設・機関

現在勤めている保育所（園）もしくは幼稚園が連携を図っている施設・機関については、「学校」（71.9%）が最も多く、次いで「福祉事務所・市福祉部局」（61.5%）、「療育センター」（57.1%）が多くなっています。



職種との関係でみると、「市内の保育所（園）・認可外保育施設」「福祉事務所・市福祉部局」「保健所・保健センター」「民生委員・児童委員（主任児童委員）」という回答は、「保育士（公立保育所）」「保育士（私立保育園）」が「幼稚園教諭」より割合が大変高くなっています。「市内の幼稚園」という回答は、「幼稚園教諭」が「保育士（公立保育所）」「保育士（私立保育園）」より割合が大変高くなっています。

【現在連携を図っている施設・機関と職種】

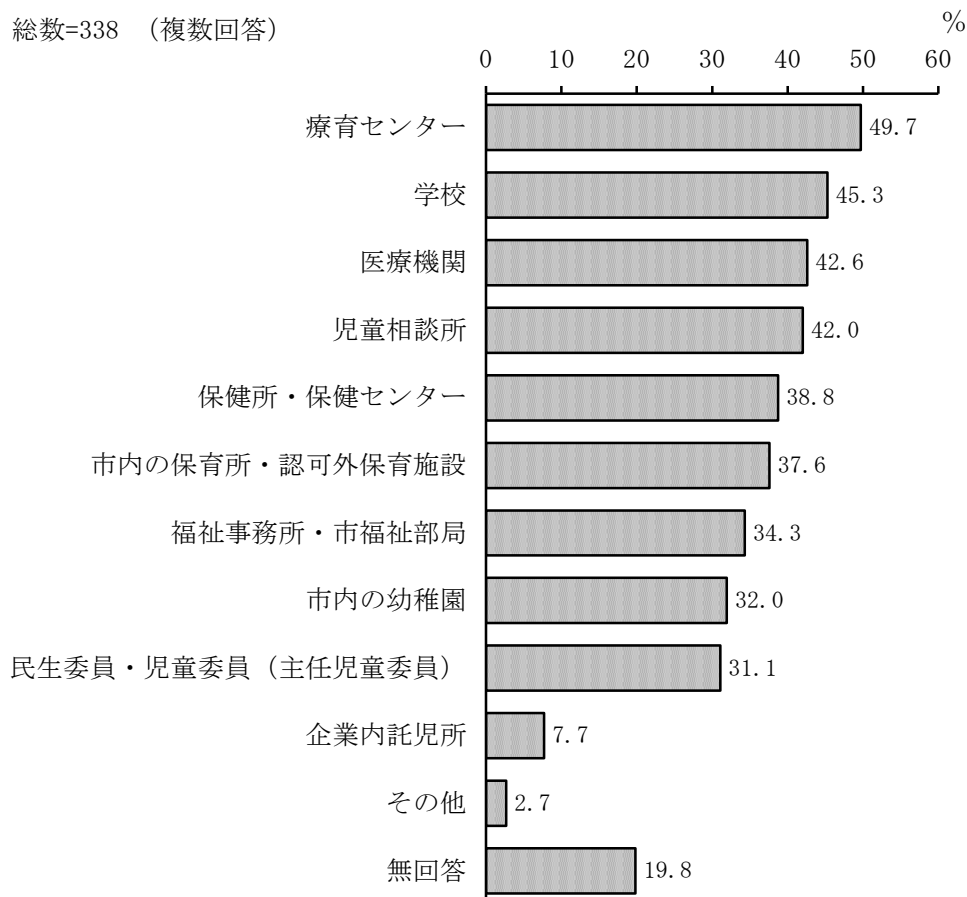
	全体	市内の 認可外 保育施設・認 可	市内の 幼稚園	福祉 事務所・ 市福 祉部局	児 童 相 談 所	療 育 セ ン タ ー	医 療 機 関	保 健 所 ・ 保 健 セ ン タ ー	学 校	企 業 内 託 児 所
全体	338 100.0	188 55.6	51 15.1	208 61.5	141 41.7	193 57.1	183 54.1	177 52.4	243 71.9	3 0.9
職 種	保健師	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	保育士（公立保育所）	181 100.0	119 65.7	9 5.0	134 74.0	91 50.3	121 66.9	101 55.8	114 63.0	133 73.5
	保育士（私立保育園）	103 100.0	63 61.2	15 14.6	73 70.9	39 37.9	42 40.8	61 59.2	54 52.4	66 64.1
	保育士（認可外保育施設）	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	幼稚園教諭	54 100.0	6 11.1	27 50.0	1 1.9	11 20.4	30 55.6	21 38.9	9 16.7	44 81.5
	主任児童委員	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	その他	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	無回答	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *

	民生委員・ 主任児童 委員 (主任児童 委員)	そ の 他	無 回 答	
全体	179 53.0	18 5.3	31 9.2	
職 種	保健師	- *	- *	
	保育士（公立保育所）	111 61.3	8 4.4	14 7.7
	保育士（私立保育園）	59 57.3	5 4.9	12 11.7
	保育士（認可外保育施設）	- *	- *	- *
	幼稚園教諭	9 16.7	5 9.3	5 9.3
	主任児童委員	- *	- *	- *
	その他	- *	- *	- *
	無回答	- *	- *	- *



## ②今後連携が求められる施設・機関

現在勤めている保育所（園）もしくは幼稚園が、今後、連携を図ることが求められる施設・機関については、「療育センター」（49.7%）が最も多く、次いで「学校」（45.3%）、「医療機関」（42.6%）が多くなっています。



職種との関係でみると、いずれの施設・機関でも「保育士（公立保育所）」が他の職種と比べて割合が高くなっています。

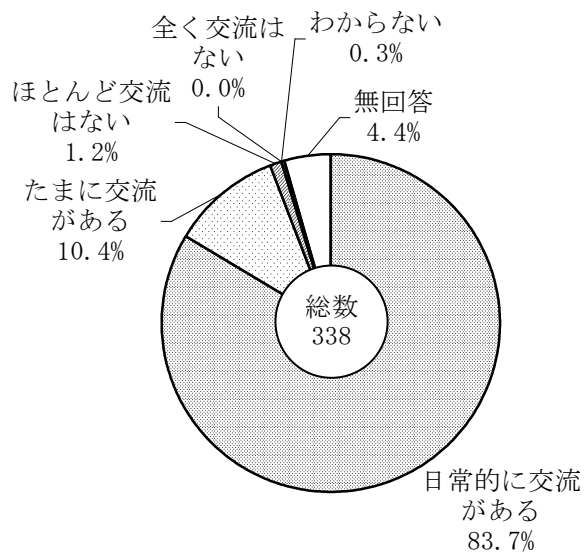
【今後連携が求められる施設・機関と職種】

	全体	市内の保育施設・認可外保育施設	市内の幼稚園	福祉事務所・市福祉部局	児童相談所	療育センター	医療機関	保健所・保健センター	学校	企業内託児所
全体	338 100.0	127 37.6	108 32.0	116 34.3	142 42.0	168 49.7	144 42.6	131 38.8	153 45.3	26 7.7
職種	保健師	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	保育士（公立保育所）	181 100.0	80 44.2	64 35.4	81 44.8	90 49.7	94 51.9	83 45.9	85 47.0	93 51.4
	保育士（私立保育園）	103 100.0	29 28.2	31 30.1	30 29.1	40 38.8	46 44.7	45 43.7	38 36.9	40 38.8
	保育士（認可外保育施設）	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	幼稚園教諭	54 100.0	18 33.3	13 24.1	5 9.3	12 22.2	28 51.9	16 29.6	8 14.8	20 37.0
	主任児童委員	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	その他	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	無回答	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *

	民生委員（主任児童委員）	その他	無回答	
全体	105 31.1	9 2.7	67 19.8	
職種	保健師	- *	- *	
	保育士（公立保育所）	73 40.3	4 2.2	39 21.5
	保育士（私立保育園）	26 25.2	3 2.9	16 15.5
	保育士（認可外保育施設）	- *	- *	- *
	幼稚園教諭	6 11.1	2 3.7	12 22.2
	主任児童委員	- *	- *	- *
	その他	- *	- *	- *
	無回答	- *	- *	- *

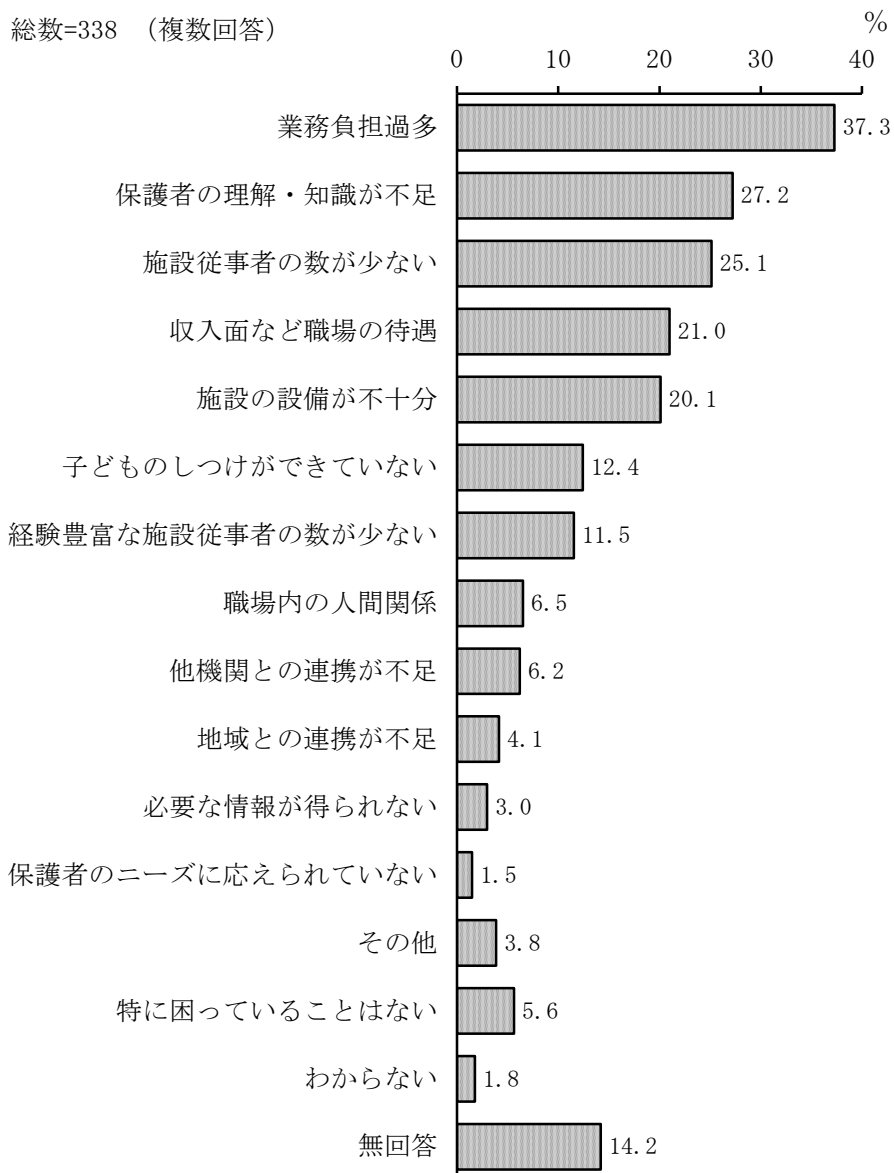
#### (4) 施設で年齢の異なる子どもたちの関わり

施設での年齢の異なる子どもたちの関わりについては、「日常的に交流がある」(83.7%)が最も多く、次いで「たまに交流がある」(10.4%)となっています。



### (5) 保育所や幼稚園に従事して日頃困っていること

保育所（園）や幼稚園に従事して日頃困っていることについては、「業務負担過多である」（37.3%）が最も多く、次いで「保護者の理解・知識が不足している」（27.2%）、「施設従事者の数が少ない」（25.1%）が多くなっています。



職種との関係でみると、「経験豊富な施設従業者の数が少ない」「収入面などの職場の待遇」という回答は、「保育士（私立保育園）」が他の職種より割合が高くなっています。「施設設備が不十分である」「業務負担過多である」という回答は、「保育士（公立保育所）」が他の職種より割合が高くなっています。「子どものしつけができていない」という回答は、「幼稚園教諭」が他の職種より割合が高くなっています。

【保育所や幼稚園に従事して日頃困っていることと職種】

	全体	施設従事者の数が少ない	経験豊富な施設従業者の数が少ない	施設設備が不十分	地域との連携が不足	他機関との連携が不足	保護者の理解・知識が不足	必要な情報が得られない	子どものしつけができていない	業務負担過多	
全体	338 100.0	85 25.1	39 11.5	68 20.1	14 4.1	21 6.2	92 27.2	10 3.0	42 12.4	126 37.3	
職種	保健師	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	
	保育士（公立保育所）	181 100.0	53 29.3	11 6.1	49 27.1	6 3.3	7 3.9	51 28.2	4 2.2	18 9.9	78 43.1
	保育士（私立保育園）	103 100.0	22 21.4	24 23.3	12 11.7	5 4.9	10 9.7	22 21.4	6 5.8	10 9.7	35 34.0
	保育士（認可外保育施設）	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	幼稚園教諭	54 100.0	10 18.5	4 7.4	7 13.0	3 5.6	4 7.4	19 35.2	-	14 25.9	13 24.1
	主任児童委員	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	その他	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	無回答	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *

	職場内の人間関係	収入面など職場の待遇	応えられていないニーズに	保護者のニーズに	その他	特に困っていることはない	わからない	無回答
全体	22 6.5	71 21.0	5 1.5	13 3.8	19 5.6	6 1.8	48 14.2	
職種	保健師	- *	- *	- *	- *	- *	- *	
	保育士（公立保育所）	14 7.7	12 6.6	3 1.7	8 4.4	9 5.0	3 1.7	29 16.0
	保育士（私立保育園）	6 5.8	44 42.7	1 1.0	2 1.9	6 5.8	2 1.9	11 10.7
	保育士（認可外保育施設）	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	幼稚園教諭	2 3.7	15 27.8	1 1.9	3 5.6	4 7.4	1 1.9	8 14.8
	主任児童委員	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	その他	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	無回答	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *